

## 【予防のための応急手当訓練～乳幼児向け～を開催しました】

当センターでは、緊急事故を予防する対策として、予防応急手当訓練を始良市消防本部のご協力のもと、毎年実施しております。

今年は、9月27日(日) 40名参加のもと開催しました。  
始良市消防本部の皆さん、御協力ありがとうございました。

### 趣旨

子どもは、大人からみると思いがけない行動や反応をする事があります。子どもの特性と行動を知り、家庭内や身の回りのちょっとした事に注意を払い、適切な対策を講じ事故の発生を未然に防止することが重要です。

今回はお子様に、起こりやすい事故の事例、予防策及びその対処法を主とし、訓練を行っていきます。



### 【 当日の様子 】

#### ○前半は、事例をもとに乳児予防対策の説明



始良市消防本部 永江救急救命士による講習

#### ○後半は、実際に人形を使って心肺蘇生・誤飲等の応急手当を指導



ご夫婦でのご参加  
お子様を中心にとっても  
和やかな教室・・・♡



心肺蘇生・・・左右の乳頭を結んだ線の中央で  
少し足側を指2本で同じ強さと  
スピードで圧迫する。



誤飲・・・腕に赤ちゃんをうつぶせで頭を  
45度位下向きにしてのせ、背中  
の肩甲骨の間を異物が出てくる  
まで数回叩く。

### 吐乳による窒息

「赤ちゃんの様子に十分な気配りを」

赤ちゃんは、ミルクと一緒に空気を飲む為、  
げっぷを十分にしないとミルクをもどした際、  
喉や気管に詰まり、窒息する恐れがあります。  
げっぷがうまく出ない時、10分～15分は  
ミルクを吐かないか様子を見て下さい。

**予防策：授乳した後は、げっぷをさせた後寝かせる**



### 入浴時の事故

「一瞬の油断が重大事故へつながります」

入浴の時に、石鹸などで足を滑らせ、赤ちゃんを浴槽に  
落とす事があります。また、うつぶせにして洗っている時  
赤ちゃんの顔がお湯に浸かり、溺れさせる恐れがあります。

**予防策：床が滑りやすくなっていないか気をつける**

**入浴中は赤ちゃんから目を離さない**





### 赤ちゃんを落とす事故

「いつもより慎重に」を心がけましょう

赤ちゃんを抱いている時は足元が見えにくいので、階段を踏み外したり、滑ったりして、赤ちゃんを落としてしまう危険があります。高い場所からの転落は、重大な事故になりやすいので十分に注意が必要です

**予防策：階段の上り下りは慎重に**



### ドアによる指はさみ事故

「赤ちゃんの目線で危険を感知」

赤ちゃんの小さな指は、ちょっとしたすき間にも簡単に入ってしまいます。

開けっ放しにしていたドアが、風で急に閉まり指を挟む事もあるので、要注意です。

**予防策：ドアを開閉するとき、赤ちゃんの手の位置に注意  
ちょうつがい部にカバーをつける等の工夫を**



### 熱いミルクなどによるやけど

「大人の注意で未然に防げます」

赤ちゃんにミルクを熱いまま与えるとやけどをさせる危険があります。

また、片手で赤ちゃんを抱きながら熱いものを取り扱う事は危険です。

赤ちゃんの皮膚は大人と比べ薄く、熱い物が掛かると重いやけどを負いやすく注意が必要です。

**予防策：赤ちゃんを抱きながら、熱いものを取り扱わない**





### ベビーカーの脱輪による事故

「事前確認と無理をしない事が大切」

ベビーカーで道路の段差を無理に通ったり、重い荷物をぶら下げたりすると、車輪等が外れベビーカーが転倒し、赤ちゃんが怪我をする恐れがあります。

**予防策：使用する前に異常が無いか確認  
できるだけ道路の段差は避けて**



### 蜜は1歳を過ぎてから

「子どもが大好きな甘いお菓子にも…」

蜂蜜は1歳未満の赤ちゃんに、あげてはいけない食品の一つです。未加工の蜂蜜には、ボツリヌス菌が混入している物もあり、乳児が食べると腸内で繁殖し乳児ボツリヌス症を引き起こし、マヒ症状や呼吸困難を起こす事もあります。

**予防策：一歳未満の乳児には絶対に与えない**



※よく起こりうる事例を一部掲載しましたが、子どもは、大人からみると思いがけない行動や反応をすることがあります。適切な対策を講じることで事故の発生を未然に防止することが出来ますが、**判断に迷ったら「119番」または「中毒110番」に相談するのもよいでしょう。**



**「中毒110番」とは…化学物質・医薬品・動植物の毒などによる中毒事故  
日本中毒情報センター → 一般市民専用電話 大阪 072-727-2499(24時間対応)  
つくば 029-852-999 (9時~21時対応)**



**小児対応可能な病院**

- ・鹿児島市夜間急病センター

**099-214-3350**

月～土 19時～翌朝7時

日・祝 18時～翌朝7時

- ・霧島市医師会医療センター

**0995-42-1171**

月～土 19時30分～22時30分

日・祝 18時30分～21時30分



**受診した方がいいのか？**

- ・鹿児島県小児救急電話相談

- ・相談時間毎日・夜間

午後7時～午後11時

- ・相談員看護師

☎県内統一# **8000**

(但しダイヤル回線、光電話及びIP電話からの使用不可)

ダイヤル回線などからは

☎**099-254-1186**



講習会に参加された方々から、

- ・普段の生活の中での危険をより深く考える良い機会になりました。
- ・知らないことなど情報を得られ、日頃見落としがちなことも注意することができた。
- ・もっとたくさん教えて欲しいことがありましたが、子どもが何とか静かにいられる時間を思えば、これぐらいが適当だと思います。
- ・次回の講習会に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

